



大きな行事が無事に終わりました

猛暑と長雨だった夏が過ぎ、夏休み中も含めて、様々な行事が無事に終わりました。9月25日(金)と26日(土)の2日間に渡って行われた白樺祭には、保護者の皆様を始め、ご来賓の皆様、地域の皆様にご大勢お越しいただき、ありがとうございました。おかげさまで大きな成果をもって終わることができました。



臨海学習 7月26・27日 1年

「全員が笑顔で過ごせ、安全な臨海学習を学年で作上げよう」との学年目標のもと、準備から当日の流れまで自分たちの力で進めようとしてきました。日曜日出発ということで、混雑が心配されましたが、水族館はともかく、海辺は意外なほど空いていて、のびのびと海水浴ができました。ビーチファイヤーでは、満ちあふれるエネルギーがほとぼしり、終わりの時には、無言の中、みんなで炎をじっと見つめていた場面が印象的でした。宿舎はクラスごと別々でしたが、どの宿舎の皆さんも親切に対応してくれ、気持ちよく使わせていただくことができました。よい臨海学習でした。

八ヶ岳登山 7月26・27日 2年

「私たちは決してあきらめない」との学年目標のもと、絶好の登山日和に恵まれ、2日間の日程を無事に終えることができました。1日目に登った根石岳の山頂では、心配した雷雨に遭うこともなく、すっきりとした青空がみんなを迎えてくれました。2日目は真冬のような吹きさらしの中、寒い思いをして必死で登った硫黄岳の山頂でしたが、昨年にも勝るとも劣らないすばらしいご来光を迎えることができました。登山ガイドの寺岡さんからは、「自分たちでやり遂げる力を持っている」という言葉をいただきました。



第11回佐久市子ども議会

佐久市子ども議会 7月30日

佐久市子ども議会には、例年次代の生徒会を担う2年生の代表者が参加しています。本年度は2年3組の神津歩希君が参加しました。当日の質問内容については、2学年全員に考えてもらい、議会では高齢者や子どもの安全対策として、GPSをより活用してはどうかという質問をしました。市の担当者からは、「前向きに検討する。」という趣旨の回答をもらうことができました。「自分たちが暮らす佐久市をより良くするためにはどうするか。」ということを考える良いきっかけになったと思います。



吹奏楽コンクール県大会 8月8日

4年ぶりに東信大会を勝ち上がって県大会に進むことができました。伊那文化会館の大ホールは、1500人も入るホールで、観客は1000人以上いたように感じました。こんな大きなホールで演奏するのは初めてでしたが、緊張はしたものの、自分たちらしい演奏ができました。他の学校の演奏を聴いて、もっと自分たちもうまくなりたいとの意欲をもらいました。



写真で振り返る白樺祭



細かい部分も丁寧に…準備



趣向が凝らされた演出…開祭式



魂を揺さぶる…意見発表会



全校制作 …階段アート



力作の数々 …展示発表



チームワークで勝負!…体育祭



見よこの一体感!…フリーステージ

迫真の演技…演劇部

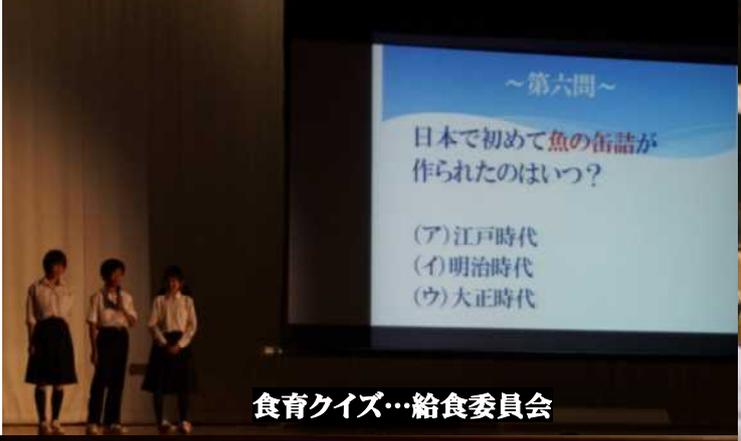


光の競演!…フリーステージ



～第六問～
日本で初めて魚の缶詰が
作られたのはいつ?
(ア)江戸時代
(イ)明治時代
(ウ)大正時代

食育クイズ…給食委員会



この音に全ての思いを込めて…吹奏楽部



心をひとつに…音楽会 全校合唱



見事なできばえ…美術部作品



感動のフィナーレ…閉祭式



(本校のホームページには、カラーのものを掲載しましたので、ご覧ください。)

音楽鑑賞会 8月27日

本年度は「アンドレ・アンリ With 東吹 Friends!」の皆さんによるトランペット・ソロと吹奏楽の演奏を鑑賞しました。金管楽器の音は鋭いものと思っている人が多かったようですが、アンドレさんのトランペットの音色はとても柔らかく、心地よい音楽にうっとりとするくらいでした。生徒たちからは、「音だけで誰が主役かすぐにわかった。」等の感想が寄せられました。代表生徒の指揮者体験があり、指揮棒の動きに合わせて演奏してもらったことも印象に残りました。一流の演奏家の音を生で聴けることは滅多にないので、貴重な一時となりました。



教育実習 8/24～9/11

本年度は英語科に2名が配属されました。授業準備では、夜遅くまで教材研究をし、どうすれば生徒たちに楽しみながら力をつけられるか、真剣に考えていました。配付するプリントやフラッシュカードにも工夫を凝らし、視覚的にもわかりやすさを追究していました。学級では文化祭準備を一緒に手伝ったり、学活でいろいろな話をしてくれたりして、生徒と深い関わりを持つと努力する姿がありました。生徒たちも、東中の先輩ということで親しみを持って接しており、実習終了時には別れが寂しい様子でした。毎年のことですが、生徒にとっても得がたい体験となっています。

熊とハチ 8月

8月、東中学校区では熊の目撃情報が相次ぎました。その他にも、スズメバチが校地内のあちらこちらに巣をかけるということがあります。刺される人が出て困るため、業者に依頼して駆除してもらいましたが、危険なことが多くて困ると思う反面、それだけ豊かな自然に囲まれているのだと思うと、ありがたい気持ちもわいてきます。もちろん危険なことから身を守るすべを身につけなければならないのは当然のことですが、危険なものやいやなものを駆除することだけを考えるのではなく、何とか共生できる道はないものかとも思います。



植え込みにかけられたスズメバチの巣



避難訓練 9月3日

本年度は「防災の日」に行くことはできませんでしたが、地震を想定した訓練を行いました。雨模様で避難先の変更も視野に入れていましたが、何とか予定通りに校庭へ避難することができました。消防署の方からは、①地震が起きたとき、自分で自分を守るため、物が落ちてこない、倒れてこない場に身を寄せること。②トイレにいるときに地震が起きたら、閉じ込められないようにまずドアを開ける。等を教えていただきました。また、校長先生からは、4年前東日本大震災が起こったとき、この東中ではどうであったかをお話いただきました。

【お知らせ】

○非違行為防止研修

教職員による不祥事を起こさないよう、本校では職員の非違行為防止のための研修を行っています。夏休み中には、非違行為防止外部委員（学校評議員）の方にも加わっていただき、人権侵害やハラスメントの防止について取り上げ、研修を深めました。

○相談窓口

第1号でもお知らせしましたが、学校では従来よりスクールハラスメント防止に努めています。その一環として、何か相談事があるとき、いつでも相談に乗れるように、「相談窓口」を保健室に設置しています。学校でも生徒に知らせていますが、ご家庭でも困ったことや悩み、その他相談したいことがあったら、保健室へ行くようにお子さんにお話してください。

(文責 教頭 畑田 一心)